

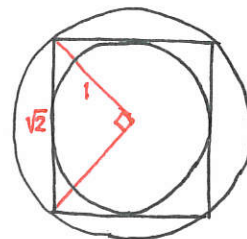
2014年現代心理(心理)・コミュ(コミュ)・観光(交流)・経営第2問

2 C_1 を半径1の円とする。円 C_1 に内接する正方形を S_1 とする。正方形 S_1 に内接する円を C_2 とする。以下同様に、円 C_n に内接する正方形を S_n とし、正方形 S_n に内接する円を C_{n+1} とする。このとき、次の間に答えよ。

- (1) 円 C_2 の半径を r_2 とする。 r_2 を求めよ。
- (2) 円 C_n の半径を r_n とする。 r_n を n の式で表せ。
- (3) 正方形 S_n の面積を A_n とし、 $T_n = A_1 + A_2 + A_3 + \dots + A_n$ とする。 T_n を n の式で表せ。
- (4) T_n が円 C_1 の面積よりも大きくなるような自然数 n のうち、最小のものを求めよ。

(1) 右図より、 S_1 の1辺の長さは $\sqrt{2}$

$$\therefore r_2 = \frac{\sqrt{2}}{2} //$$



(2) $r_1 = 1, r_2 = \frac{\sqrt{2}}{2}, r_3 = \left(\frac{\sqrt{2}}{2}\right)^2, \dots$ となるので

$$\{r_n\} \text{ は初項 } 1, \text{ 公比 } \frac{\sqrt{2}}{2} \text{ の等比数列} \quad \therefore r_n = \left(\frac{\sqrt{2}}{2}\right)^{n-1} \quad (n=1, 2, \dots) //$$

$$(3) A_n = (\sqrt{2}r_n)^2 = 2r_n^2 \quad \therefore A_n = \frac{1}{2^{n-2}}$$

$$\therefore T_n = 2 + 1 + \frac{1}{2} + \dots + \frac{1}{2^{n-2}} = \frac{2(1 - \frac{1}{2^n})}{1 - \frac{1}{2}} = \frac{4(1 - \frac{1}{2^n})}{1} //$$

$$(4) 4\left(1 - \frac{1}{2^n}\right) > \pi$$

$$\therefore 1 - \frac{1}{2^n} > \frac{\pi}{4}$$

$$\therefore 2^n > \frac{1}{1 - \frac{\pi}{4}} = \frac{4}{4 - \pi}$$

$$\text{ここで } \frac{4}{4 - 3.14} < \frac{4}{4 - \pi} < \frac{4}{4 - 3.15}$$

$$\quad \quad \quad \vee \quad \quad \quad \wedge$$

$$\quad \quad \quad 4.65 \quad \quad \quad 4.71$$

$$\therefore n = 3 //$$